

～ 礼文島の主な縄文遺跡 ～

縄文時代中期末(約4000年前)

1 上泊3遺跡

初めての縄文人が定住した遺跡



▲最古の集落跡から出土した円筒土器。礼文島に初めて渡ってきた縄文人の出身地を探る貴重な資料です。

▶島では採れない黒曜石で作った石器。この石を手に入れるため、縄文人は島の産物を手に海を渡り、物々交換をしてきたのでしょう。



縄文時代後期中葉(約3500年前)

2 船泊遺跡

アクセサリー工房が見つかった遺跡



▲専用の工房で作られた貝がら製のアクセサリーです。貝の加工に必要な高度な技術を持った職人が暮らした証拠といえます。

▶職人たちが使用した貝の加工用の道具です。北海道内では見つからない特殊な道具もあり、縄文時代の数少ない職人の技術と誇りを感じます。



縄文時代晩期後葉(約2600年前)

3 浜中2遺跡

縄文の終わりを知る遺跡



▲縄文時代の終わりころ(晩期)の数少ない貴重な土器です。他に晩期の遺跡が見つかっておらず、この時期の縄文人の暮らしは未だ謎に包まれています。



▲骨で作った髪飾りです。縄文人は狩猟道具や生活道具だけでなく、装飾品や儀礼用具など様々な道具を作っていました。

礼文島の主な縄文遺跡へのアクセス

香深港 フェリー ターミナル から	車で25分、バスで30分 →	1 上泊3遺跡
	車で35分、バスで50分 →	2 船泊遺跡
	車で40分、バスで55分 →	3 浜中2遺跡



●印は縄文遺跡が見つかった場所(13カ所)